

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	千葉県
-------	-----

I 学校の概要 (平成15年4月現在)

学校名	旭市立矢指小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	2	2	2	1	1	10	17
児童数	36	30	49	41	45	35	1	237	

II 研究の概要

1. 研究主題

考える楽しさを味わいながら、主体的に学んでいく児童の育成
 -算数科における個を生かす指導方法の工夫を中心に-

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

・全学年の算数
 児童の理解の状況に差が出やすい教科であるため。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度

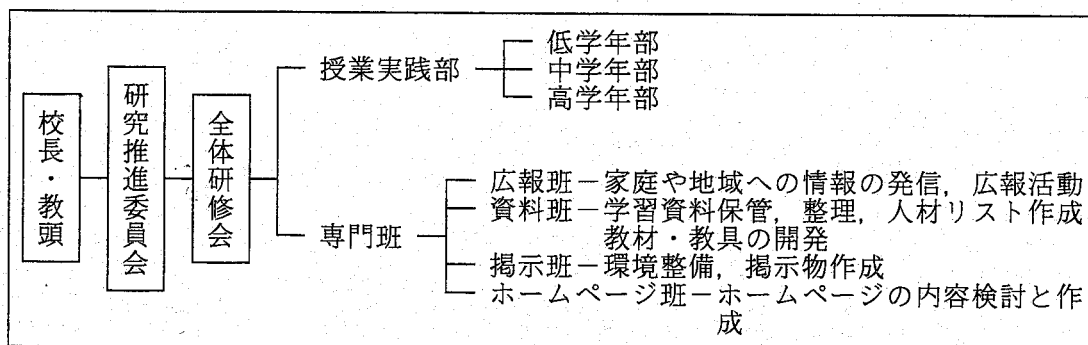
- 研究目標
 算数科の少人数指導を通して、児童一人一人が、考える楽しさを味わいながら、主体的に学んでいく力を身につけていくための、単元計画や指導方法を明らかにする。
- 研究仮説
 内容の特性と学習形態の良さを生かした単元計画を作成し、個を生かす指導法の工夫をすれば、一人一人が考える楽しさを味わいながら、主体的に学んでいく力を身に付けることができるであろう。
- 研究実践課題
 1. 単元計画の作成
 2. 個人差を把握し個を生かす指導法の工夫
 - ・評価の工夫とノート指導

平成16年度

- 研究目標
 算数科の少人数指導を通して、児童一人一人が、考える楽しさを味わいながら、主体的に学んでいく力を身につけていくための、単元計画や指導方法を明らかにする。
- 研究仮説
 内容の特性と学習形態の良さを生かした単元計画を作成し、個を生かす指導法の工夫をすれば、一人一人が考える楽しさを味わいながら、主体的に学んでいく力を身に付けることができるであろう。
- 研究実践課題
 1. 単元計画の修正
 2. 個人差を把握し個を生かす指導法の工夫
 - ・評価の充実とノート指導の徹底

* 平成15年度からの新規校については、平成15、16年度の計画について記入すること。

(3) 研究推進体制



Ⅲ 平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

- * 単元計画の作成について
 - ・ T TとS Sの学習形態の良さと各単元の特性を考慮し，8つの形態案に基づいて，年間の展開課程を設定するとともに，その展開課程に基づく具体的な単元計画を作成し実践した。
 - ・ T TとS Sで指導する良さを，実践を通して実感することができた。
 - ・ 年間計画の基づき，各単元を行う前に話し合いを行うことで，より深い教材研究ができた。
- * 評価について
 - ・ 前提，事前テストの状況から，注目すべき児童を確実に把握し，適切な支援を行えるようになった。
 - ・ 自己評価カードを活用し，1単位時間毎に自己評価を行ったところ，少人数グループに分かれる時，自分に応じたコース選択ができるようになった。
- * ノート指導について
 - ・ 5段階の学習過程に基づいたノートの使い方ができるようになった。
 - ・ 自分なりの解き方をノートに記述できる児童が多くなった。
 - ・ ノートに書くことで内容が整理され，発表にも意欲的になった。

2. 今後の課題

- * 単元計画の作成について
 - ・ 本年度作成した展開課程を本年度の実践に基づき，修正する必要がある。
 - ・ 習熟度別指導の時のグループ毎の教材や教具の開発，指導法の工夫等の研究が更に必要である。
- * 評価について
 - ・ 授業中に行う形成的評価については，今後も研究，実践が必要である。
 - ・ 少人数グループに分かれた時の，一人一人の学習状況をつかむための方策を充実させる必要がある。
- * ノート指導について
 - ・ ノートのまとめ方にも個人差があるので，よいノートの紹介等をし充実を図りたい。
 - ・ ノートに書かれたことをどう読み取り，どのように評価につなげていくかの研究が必要である。

Ⅳ 学力等把握のための学校としての取組

- * 情意スタイル調査
児童の関心・意欲・態度をスタイル別に分類し，児童の実態を把握するとともに，学級や全体の傾向を掴んだり，グループ作り・個別対応への資料とする。
年間2～3回程度実施。
- * 千葉県標準学力検査の実施
2月下旬に実施

V フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- *授業研究会及び理論研修会の開催**
- ・第1回理論研修会 (5/22・3:00~4:30・本校職員及び市内小中学校研究主任・学力向上フロンティア事業に係る算数科指導のあり方)
 - ・第1回授業研究会 (6/24・1:45~4:30・本校職員及び市内小中学校研究主任)
 - ・第2回授業研究会 (7/28・1:45~4:30・本校職員及び市内小中学校研究主任)
 - ・第2回理論研修会 (7/28・9:00~11:30・本校職員・習熟度別指導における評価)
 - ・第3回授業研究会 (11/13・1:45~4:30・本校職員及び市内小中学校研究主任)
 - ・第3回理論研修会 (2/12・3:00~4:30・本校職員及び市内小中学校研究主任・今年度の研究の成果と課題について)
- *研究の成果及び課題等をホームページに掲載予定**
- *今年度の研究のまとめを作成し、関係機関等に配布予定**

◇ 次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7~12学級
 13~18学級 19~24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T.Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無